



原発がこわい女たちの会結成29年のつどい

「チェルノブイリ30年・ 福島5年を考える」

(2016年2月10日京都大学原子炉実験所で退官記念講演中の今中哲二さん)

1986年4月26日に起きた旧ソ連邦のチェルノブイリ原発事故は原発から 30 キロの人々が強制避難しました。30年経ってもそのままです。

5年前に福島原発事故が起きました。世界最大規模の原子力災害です。原因もまだわかっていません。汚染水も垂れ流し状態です。福島の約10万人近くの人たちが避難したままです。もともと営んでいた個々の生業は失われてしまいました。絶対元に戻らない生活を余儀なくされています。チェルノブイリを調査してこられ、又福島原発事故後、飯館村の調査を継続中の今中哲二さんに来ていただいて福島原発事故のことを一緒に考えたいと思います。

◇講師・今中哲二氏 (京都大学原子炉実験所研究員)

◇日時・4月29日 (金曜日・祝日) 13:30～16:00

◇会場・勤労者総合センター6階文化ホール

(市役所西隣) ☎073-433-1800

◇参加費300円 だれでも参加できます。

◇主催 原発がこわい女たちの会

連絡先松浦☎073/451/5960